

# 野菜畑作生産情報 第3号（要約版）

平成30年6月20日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- ◎小麦の刈取適期は7月上～中旬の見込みです。適期収穫に努めましょう。
- ◎にんにくの収穫期は平年よりやや早まる見込みです。収穫及び乾燥作業の準備を計画的に行い、適期収穫に努めましょう。

## ○小麦

- 1 刈取適期は7月上～中旬頃の見込みである。収穫が遅れないよう適期に収穫する。
- 2 効率的に収穫作業を行うため、ほ場の排水対策を徹底する。

## ○大豆

- 1 は種後の出芽は順調である。
- 2 中耕・培土は、1回目は本葉2～3枚の展開期に初生葉のつけ根まで、2回目は本葉5～6枚の展開期に第1本葉のつけ根まで土寄せする。
- 3 害虫の適期防除に努めるほか、排水対策を徹底する。

## ○にんにく

- 1 地上部、地下部の生育とも、平年並から上回っており、順調である。
- 2 りん球の肥大促進と割れ玉の発生軽減のため、病害虫防除を徹底する。
- 3 収穫期は、平年よりやや早まると見込まれる。
- 4 収穫遅れとならないよう、早めに試し掘りを行い、盤茎部ばんけいぶとりん片の尻部がほぼ水平となる時期に収穫する。

## ○ながいも

- 1 1回目の追肥は、①植付後の日数、②新しいもの長さ、③つるの伸長を目安として、適期に行う。
- 2 採種ほ場は、ウイルスの伝搬を防ぐため、10日間隔でアブラムシ類の防除を行う。

## ○春夏にんじん（トンネル栽培）

- 1 生育は順調で、地上部は平年を上回っており、地下部は根長が平年並で、根径、根重は上回っている。
- 2 葉の半数以上が地際部まで垂れ下がった頃に試し掘りを行い、M、L級が中心になつた頃に収穫する。

## ○ばれいしょ

- 1 生育は順調で、草丈は平年を上回っている。
- 2 着蕾期は平年より5日早い5月25日、開花期は平年より4日早い6月7日となった。
- 3 痘病の予防防除を徹底する。
- 4 早出し栽培（マルチ栽培）では6月下旬頃に試し掘りを行い、いもの肥大を確かめて収穫期を決める。

## ○ごぼう

- 1 は種作業が遅れたため、草丈、葉数は平年を下回っているが、生育はおおむね順調である。
- 2 除草、病害虫防除を適期に行う。

## ○メロン

- 1 トンネル栽培（5月上旬定植）では、主づる長は平年（過去4か年の平均）並、主づるの葉数は平年をやや下回っているが、生育はおおむね順調である。着果節位の開花も順調である。
- 2 こまめな温度管理で生育の促進を図る。特に交配期は最低気温が15°C前後になるよう管理する。
- 3 交配はミツバチ等訪花昆虫を利用するか人工交配を行う。曇雨天が続く場合はホルモン処理を併用する。

## ○ね ぎ

- 1 3月下旬定植、4月下旬定植とも、生育は順調である。
- 2 草勢の維持に努め、培土や追肥を適期に行う。
- 3 べと病等の防除を徹底する。

◎メロンやいちごなどの園芸作物で、花粉交配用ミツバチが確保できない場合には、各地域県民局地域農林水産部まで御相談ください。

◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！  
ほ場の準備に当たっては、土壤診断に基づいた土づくりに努めましょう。

◎農薬の使用に当たって、

農薬は適正に使用しましょう。  
農薬の飛散を防止しましょう。

農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てないようにしましょう。

クロルピクリン剤など土壤くん蒸剤を使用する際は、必ずポリエチレンフィルム等(厚さ0.03mm以上または難透過性の資材)で被覆してください。

農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

農薬情報([http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/))

農薬登録情報提供システム

【詳細検索】(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt1lp301.jsp>)

【作物名検索】(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt1lp101.jsp>)

◎農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について～

1 農業共済

「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に共済金が支払われる制度です。

2 農業経営収入保険

平成31年から新たに始まる「農業経営収入保険」は、農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体を対象とし、自然災害に加え、価格低下などにより収入が一定割合以上減少した場合に補填金が支払われる制度です。

加入には、青色申告が条件となっており、平成31年分の申請は、30年10月から11月となっています。

※詳しくは、地域の農業共済組合にお問い合わせください。



報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課 野菜・畑作物振興グループ
担当者	海老名 主幹
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5077
報道監	農林水産部 石戸谷 農商工連携推進監 内線 4966